

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 ( 3669 ) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

平成 14 年 5 月 29 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>

今日は、基本数値 ( 9 ・ 1 7 ・ 2 6 ・ 3 3 ・ 4 2 ・ 6 5 ) についてもう少し詳しくご説明したいと思います。

まずは最初の 9、これを**一節**と呼びます。大底を打った相場が出直って最初の高値をつける。この大底から最初の高値までが立ち合い日数で9日前後というのはよく見られるケースです。17は**二節**。そして、26は**一期**と呼びます。一期という文字の通り、一つの相場の区切りです。直近の安値から高値までが26日。(週足を使って長期波動を見るなら26週) 反対に、直近の高値から安値までが26日(26週)これもよく見られるケースです。

基本数値のなかには載っていませんが、51というのも重要な数値です。26の2倍(26 + 26 - 1 = 51)にあたるので**二期**と呼んでいます。このところ低迷しているハイテク株、しかし、**6857 アドバンテスト**の日足チャートをご覧ください。すでにその下げは**二期**に及んでいます。一期の2倍に相当する日柄の調整をしているのですから、そろそろ底が近いのかもしれません。

そして、76。これも大変重要な数値として覚えておいて下さい。76は**三期**(26 + 26 + 26 - 2 = 76)にあたりますが、**一巡**と呼んでいます。たとえば、野球で打者一巡という言葉がありますが、上げ相場にせよ下げ相場にせよ立ち合い日数で76日も経過すれば、反転する可能性が高くなると言えましょう。

次回に続きます。

(無料テレホンサービス) やさしいチャート教室 03 - 3 6 6 9 - 5 5 5 2 )



Alpha Chart 社製

このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 ( 3669 ) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

平成 14 年 5 月 29 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>



Alpha Chart 社製